

小・中学校における土曜日の授業の実施

問 土曜日授業を実施する目的をどのように考えているか。

答 授業時間数の増加や確かな学力の定着、家庭・地域との連携を図るなど充実した教育活動を行うために、土曜日授業を実施する。

問 円滑な実施のために、校内の指導体制の確立と、保護者や地域住民の理解をどのように図っていくか。

答 関係団体の会議などで趣旨説明を行っている。また、土曜授業の実施概要のひな形を学校に示し、保護者や地域に周知していく。

※他の質問項目 土曜授業の回数

学力調査

問 確かな学力の定着度調査をもとにした各学校の授業改善プランとはどのようなものか。

答 各学校で毎年8月までに授業改善プランを作成し、公開している。児童・生徒の学力向上のため、わかる授業の推進に、各校さまざまな工夫を行っている。

※他の質問項目 学力調査の問題作成など

葛飾区民会議

BCPP(業務継続計画)の進捗状況と危機管理政策

BCPPの進捗状況

問 BCPP(業務継続計画)地震編、新型インフルエンザ編の、今後の具体的なイメージとねらいについて、また、各部署に求める効果と、区長としての将来的なビジョンを伺う。

答 優先業務を事前に計画化し、業務遂行の阻害要因、解決課題を明らかにし、区民のために活動するさまざまな対策の実効性を確保する。日頃から危機管理意識を各部署に求め、職員の訓練を拡充し、区民第一の姿勢を強く持った取り組みをビジョンとする。

※他の質問項目 災害時協定 など

震災復興の課題

問 震災復興マニュアルなどで、ガレキや災害廃棄物と、限りある処分場や一旦集積場の課題を示すべきである。



ガレキの処理 「阪神・淡路大震災—神戸市の記録1995年—」(阪神・淡路大震災 神戸市災害対策本部編)

答 ガレキ置場選定方針など処理のあり方について今後も検討を進める。

※他の質問項目 ごみ処理対策 など

質の高い行政を展開するための取り組み

区職員の育成と確保

問 新たな人材育成基本方針における現状の課題と具体的な進め方を伺う。

答 知識・技術の継承や若手職員の育成などの課題に対し、職場を「育てる場」に位置付け目標を掲げ、業務改善の取り組みを通して職員を育成する。

区職員の研修

問 新人職員だけでなく、管理職も民間企業での研修が必要ではないか。

答 派遣先の確保や実施課題などを検討し、職員の経験の場を広げていく。

はたちのついで 問 記念品贈呈の復活を検討する考えがあるのか伺う。

答 ゲストによるコンサートやメッセージの披露など、心に残る「はたちのついで」となるよう努力していく。

問 補助対象を限定せず電気料の助成を

検討する考えがあるのか伺う。

答 料金の負担軽減になるLEDへの切り替えが有効と考える。今後、助成の在り方を研究していく。

日本共産党葛飾区議会議員団

子ども家庭支援センターの存続 児童クラブ・保育所の充実を

子育て支援

問 子ども家庭支援センターは統廃合ではなく、存続させ、増設すべきだが、どうか。

答 支援センターのあり方は、子ども総合センターの開設に合わせ、地元要望などを踏まえ検討する。

問 大規模児童の解消のため、増設計画を見直し、国が示した基準を確保することを求める。

答 待機児童を発生させないように計画的に設置する。また設置に際しては、国の基準を満たした施設を設置する。

※他の質問項目 区が土地を取得し保育所を設置すること など

新宿六丁目地区の大学・公園用地の盛土

問 1・5メートルの盛土では水害が発生したときには浸水することが明らかであるのに、なぜ防災といえるのか。

答 現時点で国が想定し公表している浸水想定区域図を基に計画した。

※他の質問項目 盛土計画撤回 など

高齢者の経済的給付事業の復活 特養ホーム増設で空白解消

問 本区も廃止した経済的給付事業を復活してはどうか。

答 所得にかかわらず年齢などの要件で給付されるため見直しをしたもので、制度を復活する考えはない。

特別養護老人ホーム

問 特養の配置には空白地域があり、地域偏在を解消すべきだが、どうか。

答 特別養護老人ホームは区全域を一つの単位として整備しているため、地域ごとに整備する考えはない。

※他の質問項目 本区が土地を取得して福祉法人に貸与する方式 など



地域包括支援センター

小菅四丁目自転車置き場

問 小菅四丁目自転車置き場を無料で存続させるべきと思うが、どうか。

答 新設される自転車置き場や既存施設の改修などにより自転車の収容はできるもので、本置き場を廃止する。

※他の質問項目 足立区と本区の自転車駐車場の整備の役割分担 など

民主党 葛飾

学力水準と商店街の活性化 高齢者の就業支援

問 葛飾区の学力水準活性化

問 小中学校の学力水準の活性化が重要だが、基本方針・予算の見直しの必要性をどう考えているか。

答 葛飾区教育振興ビジョン(第2次)を積極的に推進し、さまざまな教育条件の整備に取り組んでいきたい。

※他の質問項目 葛飾区教育振興ビジョン(第2次)の達成率 など

元気な高齢者の就業支援

問 元気な高齢者の就業支援

※他の質問項目 離職率の把握 など

問 商店街の助成金予算を商店街限定の買い物券として区民に配布したほうが経済効果が大きいと思うがどうか。



青砥駅前の商店街

答 商店街では、助成を活用し商品券などを商店街利用者へ提供している。助成を通じ、消費の喚起につなげる。

※他の質問項目 後継者不足 など

学校教育の課題と 堀切地区のまちづくり

問 不登校の対策について、現状認識や課題、対策の実績などについて伺う。

答 不登校は小中学校とも増加傾向にあり、スクールカウンセラーをすべての小中学校に配置するなど不登校の未然防止を図ってきた。今後もより充実した体制づくりに努めていく。

※他の質問項目 教員の多忙化 など

堀切地区のまちづくり

問 まちづくりには住民参加が不可欠だが、どのように進めていくのか。

答 地域の方々の発案による緑道へのベンチの設置などを始めた。今後も積極的に取り組んでいく。

※他の質問項目 防災面の課題 など

無所属(※2)

土曜授業の実施と 地域スポーツクラブ

問 区の情報公開・日曜開庁

問 庁議の議事録をホームページで公開すべきと思うが、どうか。

答 公表時期の制限や公表できない場合などの課題を踏まえて、検討する。

※他の質問項目 日曜開庁 など

高齢者の孤独死対策など

問 高齢者の孤独死対策について、区長の所見を伺う。

答 高齢者が社会から孤立しない地域づくりが重要で、対策を充実させる。

※他の質問項目 本区の高齢者の孤独死の実態 など

土曜授業の実施

問 特色ある学校づくりの観点から土曜授業の回数などを各学校の裁量に委ねるべきと思うが、どうか。

答 授業の回数などは、平成22年の試行実施を踏まえて、その成果や課題などを検証していく必要がある。

※他の質問項目 教員へのサポート体制 など

地域スポーツクラブ

問 区長の公約には7カ所の地域スポーツクラブの育成・支援とあるが、7カ所すべての設立を目指すのか。

答 7カ所の設置を計画目標とし、22年度は3カ所目の設立に取り組む。

※他の質問項目 スポーツクラブの設立後の支援



こやのエンジョイクラブ